

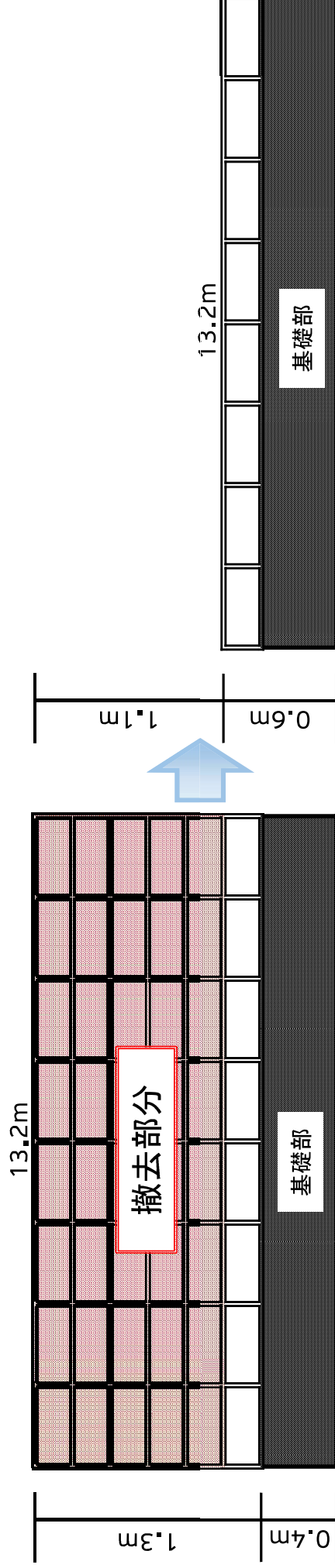
補助金額の計算例

補助金の額は、次の①・②のうち、いずれか少ない方の額の2/3とし、上限は、125,000円とします。なお、補助金の額に1,000円未満の端数が生じる場合は、1,000円未満を切り捨てた額とします。

- ① 撤去に係る費用（ブロック塀等の撤去のための経費、撤去により生じた廃棄物の運搬処分費、残置部分があれば残置のための補修費）
- ② 撤去部分の見付面積（高さ×長さ）1㎡当たり12,500円を乗じた額

【例】

塀全体が高さ1.7m、長さ13.2mであり、このうち高さ1.1m・長さ13.2mのコンクリートブロック部分を撤去し、高さを0.6mとした場合



- ① 撤去に係る経費(契約額) 129,600円
 - ② 撤去部分の見付面積 $1.1\text{m} \times 13.2\text{m} = 14.52\text{m}^2$
 $\Rightarrow 14.52\text{m}^2 \times 12,500\text{円} = 181,500\text{円}$
- ①129,600円 < ②181,500円 であるため、補助金算出の基礎となる額は ① 129,600円

これより、補助金の額は

$$\text{①} \times \frac{2}{3} = 129,600 \times \frac{2}{3} = 86,400 \text{円} \approx 86,000\text{円} \text{ (千円未満切り捨て)}$$

したがって、上記【例】の場合は、**86,000円**の補助となります。